

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許さない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

濾胞性リンパ腫における増殖因子 Ki-67 発現の臨床病理学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2004年4月～2018年3月に当院で濾胞性リンパ腫の病理診断および治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

濾胞性リンパ腫は代表的な低悪性度B細胞リンパ腫で、近年は増加しつつあります。経過が緩徐で、生存期間は7～10年と長いのですが、ほとんどの進行期症例は化学療法が効かなくなって治癒が困難になります。濾胞性リンパ腫は再発率が高く、更なる治療成績の向上ために、濾胞性リンパ腫の治療効果や予後を測る、バイオマーカーが開発されることが期待されています。Ki-67は細胞増殖と関連した核抗原で、腫瘍の増殖を検出するマーカーとして有用です。濾胞性リンパ腫におけるKi67発現は病理組織を用いた免疫組織化学で評価できますが、濾胞性リンパ腫の治療においてバイオマーカーとしては用いられていません。今回、私たちは多数例の濾胞性リンパ腫症例について、Ki67発現を画像解析ソフトを用いて自動解析し、FLの治療効果予測、予後予測のバイオマーカーとしての有用性を検討することを計画しています。

研究期間

2018年 4月 1日～ 2019年 3月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、病理診断報告書

試料：昭和大学病院臨床病理診断科において病理診断を行ったあとに保存されていた病理標本
(患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部臨床病理診断学講座 氏名：塩沢 英輔

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8122

研究責任者：

所属：医学部臨床病理診断学講座 研究責任者：瀧本 雅文